

近畿病院図書室協議会研修会記録 (2001年~2010年)

第94回~第123回研修会、第6回~第30回勉強会などの記録を以下の要領でまとめた。

(第1回から第57回までの記録は本誌 Vol. 10 に、第58回から第70回までの記録は Vol. 14 No. 4 に、第71回から第93回までの記録は Vol. 20 No. 4 に掲載。)

なお、データの連続性を維持するため、対象年(2001年~2010年)からはずれるものも含まれている。

1. 研修会記録は、回・プログラム・開催年月日の各項目についての記録である。
2. 講師・発表者などの敬称は省略した。
3. 講師・発表者が協議会会員や担当者の場合は、原則として機関名のみを記し所属部署や職名は省略した。
4. 研修会開催地・開催時間・参加人数などは省略した。
5. 各会について開催年月日順に記した。

研修会

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
94	(1) 看護職が望む病院図書館 末原紀美代 (大阪府立看護大学母性看護学科) (2) 病院図書館と看護大学図書館の連携 —大阪府看護図書館連絡調整会議の発足について— 大前 富美 (大阪府立看護大学附属図書館) (3) 国内医学文献データベースの現況 松下 茂 (株式会社サンメディア) (4) 住友病院図書室紹介 —住友病院図書室の看護職へのサービス— 松本 純子 (住友病院) (5) 図書室見学	2001. 1. 31
95	事例・研究報告会 座長：森川 治美 (松阪中央総合病院) (1) 近畿病院図書室協議会受託事業「学術雑誌総合目録」を使った雑誌所在調査 1997~2000年報告 中村 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター) (2) 病院図書館員認定資格に関する事業の経過報告 首藤 佳子 (星ヶ丘厚生年金病院) (3) 図書室担当後一年をふりかえって —病院機能評価：準備から受審まで— 北川佳世子 (大阪労災病院) (4) 京都大学大学院医学研究科とのEBM情報システム・ワーキング活動	2001. 3. 22

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	<p>—中間報告— 小田中徹也（国立京都病院）</p>	
96	<p>(1) [医学の基礎知識] 神経内科領域 老人医学の基礎知識 —脳の若さを保つには— 宇高不可思（住友病院）</p> <p>(2) 雑誌契約更改の現状 —アンケート結果報告— 研修部</p> <p>(3) デジタル時代の出版メディア —図書館はどう変わる?— 湯浅 俊彦（日本出版学会会員・旭屋書店勤務）</p> <p>(4) 『IT-Station』電子ジャーナル管理システムの紹介とデモンストレーション 高柿 義一（インフォトレーダー株式会社） 阿賀嶺恭一（株式会社ハザン商会）</p>	2001. 10. 24
97	<p>(1) [病院業務の基礎知識] 病院薬剤師の薬剤情報提供 今川 文典（京都市立病院）</p> <p>(2) 病院で利用できる医学情報サービス 松下 茂（株式会社サンメディア）</p> <p>(3) 闘病記データベース 山崎 賢二（鳥取大学附属図書館）</p> <p>(4) 患者さんへの医学・医療情報提供 戸津崎茂雄（京都南病院）</p>	2002. 1. 24
98	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) 雑誌「病院図書館」読者アンケート結果の報告 瀬戸 嘉枝（神奈川衛生学園専門学校）</p> <p>(2) 患者図書サービスへの取り組み 福田 香織（医真会八尾病院）</p> <p>(3) 図書室勤務を振り返って —主婦から司書へ— 高田 幸子（富山市民病院）</p> <p>(4) 医学図書の寿命について 山室真知子（京都南病院）</p> <p>(5) 臨床ガイドライン作成作業からみた国内医学文献データベースの検索とその結果の比較検討 小田中徹也（国立京都病院）</p>	2002. 3. 25
99	<p>サマーセミナー 2002 第1日</p> <p>(1) 近畿病院図書室協議会の著作権問題に対する取り組みと経過について 小田中徹也（国立京都病院）</p> <p>(2) 出版倫理から文献情報流通を考える</p>	2002. 9. 6～7

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	<p>山崎 茂明 (愛知淑徳大学文学部図書館情報学科)</p> <p>(3) 病院図書室での文献取り寄せについて —統計からみた推移 報告— 研修部</p> <p>(4) 大学図書館と相互貸借業務 咲尾 佳秀 (大阪市立大学学術情報センター医学分館)</p> <p>(5) ワークショップ</p> <p>1) 患者さんへの医学情報提供サービス</p> <p>2) 著作権と病院図書館</p> <p>3) Web時代の利用者教育</p> <p>第2日</p> <p>(1) EBMにおけるエビデンスとは 中山 健夫 (京都大学大学院医学研究科医療システム情報学)</p> <p>(2) エビデンスを探す —情報源とその使い方— 河合富士美 (聖路加国際病院医学図書館)</p> <p>(3) PubMedによるエビデンス検索 小田中徹也 (国立京都病院)</p>	
100	<p>(1) 医療制度の特徴とその実態 「これからの病院図書館 = 医学図書館から医療図書館へ」 前田 元也 (姫島診療所)</p> <p>(2) 近畿病院図書室協議会総合目録データの提出方法について 山室真知子 (京都南病院)</p> <p>(3) [医学の基礎知識] 膝のスポーツ障害 堀部 秀二 (大阪労災病院)</p> <p>(4) もっとよくわかる医学用語 濱口 恵子 (高槻赤十字病院)</p> <p>(5) 第100回研修会を迎えて —近畿病院図書室協議会の歩みと未来への期待— 重富 久代 (京都市立病院) 首藤 佳子 (星ヶ丘厚生年金病院) 松本 純子 (住友病院) 山崎 捷子 (淀川キリスト教病院) 山室真知子 (京都南病院) 司会：小田中徹也 (国立京都病院)</p>	2003. 1. 24
101	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) 病院図書館への iLiswing 21 導入事例 中村 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)</p> <p>(2) 病院図書室と私 —この一年をふりかえって— 松尾 知香 (石切生喜病院)</p> <p>(3) 近畿病院図書室協議会統計調査</p>	2003. 3. 27

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	<p>増田 徹 (藍野学院短期大学)</p> <p>(4) 研修会参加者動向分析</p> <p>林 伴子 (社会保険神戸中央病院)</p>	
102	<p>サマーセミナー 2003 病院図書館の将来像</p> <p>第1日 患者アドボカシー</p> <p>(1) 患者アドボカシー活動における司書の役割 清水 聡 (京都南病院)</p> <p>(2) 事例報告：患者さんへの医学・医療情報公開の実践 藤井 梨枝 (福井県済生会病院)</p> <p>(3) 患者アドボカシーの役割とネットワーク —病院図書館との連携の可能性— 和田ちひろ (HCRM 研究会)</p> <p>(4) スモールグループワークショップ</p> <p>1) 新医師臨床研修制度</p> <p>2) 病院機能評価</p> <p>3) EBM と病院図書館員</p> <p>第2日 文献検索システムの新しい動向</p> <p>(1) 医中誌 Web Ver. 3 について 松田 真美 (医学中央雑誌刊行会)</p> <p>(2) JST の新しい動き —固定性の今後と新しいシステム JDream 森田 歌子 (科学技術振興事業団)</p> <p>(3) 『図解 PubMed の使い方』改訂のポイント 奥出 麻里 (JFE 健康保険組合川鉄千葉病院)</p>	2003. 9. 5～6
103	<p>文献検索のスキルアップ</p> <p>(1) 医学情報流通の最近の動向 小田中徹也 (国立京都病院)</p> <p>(2) UpToDate の効果的利用について —検索実習— 橋本 剛 (ユサコ株式会社)</p> <p>(3) 医中誌 Web・JDream 検索実習</p>	2004. 2. 5
104	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) 臨床研修必修化に伴う情報源の整備 —現状と課題— 首藤 佳子 (星ヶ丘厚生年金病院)</p> <p>(2) 当院における図書業務の取り組みについて 小川 香 (耳原総合病院)</p> <p>(3) 図書室開設準備の一年 渡邊 朋子 (京都桂病院)</p> <p>(4) 病院医学雑誌と図書館員 重富 久代 (京都市立病院)</p> <p>(5) 病院機能評価にむけて図書室改善のとりくみ</p>	2004. 3. 26

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	塚本 誠子 (刈谷総合病院)	
105	(1) 著作権と病院図書室 飯田 育子 (浜松赤十字病院図書室) (2) 病院図書館と著作権：最近の話題 熊谷智恵子 (虎の門病院図書室) (3) 国立情報学研究所の新たな情報提供サービス展開 鶴澤 和往 (国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課目録情報管理係長) (4) スモールグループ討議 1) 病院機能評価を評価する 2) 著作権と ILL 3) オンラインジャーナルの利用方法 4) 仮想患者図書館	2004. 10. 9
106	(1) 新しい専門職「医療情報技師」について 河村 徹郎 (鈴鹿医療科学大学医用工学科教授) (2) 住友病院図書室の紹介 松本 純子 (住友病院) (3) 糖尿病の今昔 清水 孝郎 (住友病院健康管理センター長) (4) 藍野学院における図書館利用 増田 徹 (藍野大学) (5) 図書室はかけがえのない情報源 加藤 紀仁 (緑風会病院リハビリテーション科 理学療法士)	2005. 2. 2
107	事例・研究報告会 (1) 星ヶ丘厚生年金病院図書室の業務分析 中村 友紀 (星ヶ丘厚生年金病院) (2) 当院の図書室管理システムについて 井上智奈美 (三菱京都病院) (3) 病院図書室の役割 安東 正子 (姫路赤十字病院) (4) 総合雑誌目録について 大西 幸雄 (株式会社サンメディア) (5) iyakuSearch データベースの紹介 寺村いく子 (日本医薬情報センター附属図書館)	2005. 3. 25
108	いまこそ病院図書館連携を強固に 第1日 (1) 東海目録 Web 版 (TOMcat) の運営について 坪内 政義 (愛知医科大学医学情報センター)	2005. 8. 26～27

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	<p>(2) 近畿病院図書室協議会会員所蔵雑誌目録 Web 版の概要 大西 幸雄 (株式会社サンメディア ネットワーク事業部)</p> <p>(3) 報告：NACSIS-WebUIP 病院屠所館ユーザーの現状報告 中村 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)</p> <p>(4) 報告：長野県内の病院図書室連携について 前澤 好広 (長野赤十字病院)</p> <p>(5) スモールグループディスカッション 1) 患者さんへの医療情報の提供 2) 文献入手環境をどう整備していくのか 3) 臨床研修医制度と病院図書室</p> <p>第 2 日</p> <p>(1) [医学の基礎知識] 消化器疾患について 松田 至晃 (長野赤十字病院 第二消化器科部長)</p> <p>(2) 医薬品情報管理業務をサポートする電子メディア商品 川畑 寿弘 (株式会社じほう 大阪販売部)</p> <p>(3) [医学の基礎知識] ペイン一般について 荻原 正洋 (長野赤十字病院 第一麻酔科部長)</p> <p>(4) PubMed 検索の基礎と実践 小田中徹也 (国立病院機構京都医療センター)</p> <p>(5) 長野赤十字病院図書室見学</p>	
109	<p>(1) [医学の基礎知識] 病院における医療ソーシャルワーク業務の実際 川田美也子 (大阪府立成人病センター 患者総合相談室)</p> <p>(2) 近畿病院図書室協議会会員所蔵雑誌目録 Web 版の概要 大西 幸雄 (株式会社サンメディア ネットワーク事業部)</p> <p>(3) 「JMLA 相互利用マニュアル第 5 版 2005 年」改訂点と「文献取り寄せ業務」の見直しについて 中村 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)</p> <p>(4) JST JDream 新サービスについて 山口 祐穂 (科学技術振興機構 情報提供部新サービス開発課)</p>	2005. 12. 8
110	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) 患者図書館／患者図書室を目指して 一公開シンポジウム「これからの医療情報を考える！」開催報告一 杉本 節子 (武庫川女子大学)</p> <p>(2) 病院図書館の業務分析 (第一報) 中村 友紀 (星ヶ丘厚生年金病院)</p> <p>(3) 長野県でのネットワーク活動について 前澤 好広 (長野赤十字病院)</p> <p>(4) 精神医学・心理学系専門図書館システム新規構築について</p>	2006. 3. 24

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	<p>—情報入手機能とシステムの検討— 有園 博子 (兵庫県こころのケアセンター)</p> <p>(5) 図書館業務でのより効率のよいメール管理 —迷惑メール対策を中心に— 中村 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)</p>	
111	<p>(1) PubMed/医中誌 Web Ver. 4/JDreamII の基本操作説明 立道 勉 (株式会社サンメディア e-Port)</p> <p>(2) 看護研究支援を目的とした検索指導 大前 富美 (大阪府立大学学術情報センター 学術情報課)</p> <p>(3) Web 版データベース解題と基本的な使い方 立道 勉 (株式会社サンメディア e-Port) 衣笠 美穂 (株式会社サンメディア e-Port) 長谷川智史 (株式会社サンメディア e-Port)</p> <p>(4) 近畿病院図書室協議会総合目録 Web 版の使い方 大西 幸雄 (株式会社サンメディア ネットワーク事業部)</p> <p>(5) 図書館利用者への PubMed 検索指導 阿部 信一 (東京慈恵会医科大学学術情報センター)</p>	2006. 8. 11
112	<p>(1) 臨床研修指定病院の蔵書構築 桑村 純子 (洛和会音羽病院)</p> <p>(2) 施設 (図書室) 紹介 寺澤 裕子 (関西労災病院)</p> <p>(3) 初心者のためのブックコーティング講習 岡部 健一 (フィルムルックス株式会社)</p> <p>(4) 看護研究支援の模索 宮本 孝一 (東京都老年学情報センター)</p> <p>(5) 「MEDLINE with FullText」の紹介 鈴木 智之 (EBSCO Publishing Japan)</p> <p>(6) 食事療法と薬物療法の葛藤 —エビデンスはどちらにあるか?— 柳 元和 (帝塚山大学 現代生活部 食物栄養学科)</p>	2006. 12. 1
113	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) 蔵書構築研究班 2006 年研究活動報告 藤原 純子 (洛和会音羽病院)</p> <p>(2) 国外における一般市民への医学情報提供の現状 (文献的考察) —医学図書館による公共図書館への指導— 若杉 亜矢 (松下記念病院)</p> <p>(3) 図書館担当者の専門性に関する文献研究 寺澤 裕子 (関西労災病院)</p>	2007. 3. 23

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	(4) Kinki Webcat の使い方 ー 目録サポートチームからの紹介ー 神山 貴子 (京都桂病院) (5) 病院における仮想患者図書館をさぐる ー 事例を参考にー 松本 純子 (住友病院)	
114	Web 情報源の歩き方 ー それぞれの一步をここからはじめようー (1) オンラインジャーナルの登録方法 HighWire 編 中村 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター) (2) 初心者のための PubMed の使い方 講義と実習 松本 純子 (住友病院) (3) 書誌事項確認のための文献検索 ー JDreamII を使ってー 首藤 晶子 (科学技術振興機構) (4) 文献検索指導をするためのコツ ー JDreamII を使ってー 黒田 明子 (科学技術振興機構) (5) Web 情報源に関する用語解説 橋本 剛 (ユサコ株式会社) (6) 臨床工学技士のための図書館活用術 楠本 繁崇 (大阪大学医学部附属病院 ME サービス部)	2007. 8. 23
115	デジタルメディアを駆使し、より高品質の病院図書館機能をめざそう (1) 電子出版の現状と課題 湯浅 俊彦 (夙川学院短期大学) (2) Google について 高橋 和子 (京都学園大学) (3) 図書館パスファインダー 市川美智子 (愛知医科大学医学情報センター図書館) (4) 賢い医師・患者育成の場としての病院図書館 ー 皮膚科医からの提言ー 幸野 健 (関西労災病院)	2007. 12. 7
116	事例・研究報告会 (1) 「親と子のとしょかん」3年目をむかえた入院児向図書提供 中村 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター) (2) 患者図書室の構想と立ち上げ 高橋真由美 (島根県立中央病院) (3) 国外における一般市民への医学情報提供の現状 (文献的考察) ー 病院図書室における現状ー 神山 貴子 (京都桂病院) (4) 定期的な見計らいの試み 井上智奈美 (三菱京都病院) (5) 受入資料の装備を主とした当院図書室業務の見直し	2008. 3. 28



回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	寺澤 裕子 (関西労災病院)	
117	<p>電子ジャーナル導入検討と ILL 進化論</p> <p>(1) 電子ジャーナルの利用統計を読む 小川 晋平 (大阪大学附属図書館)</p> <p>(2) Journals Consult ジャーナルズコンサルト エルゼビア・ジャパン株式会社 丸善株式会社</p> <p>(3) 賛助会員によるプロダクトレビュー</p> <p>1) JDreamII の案内 齋藤 仁夫 (科学技術振興機構)</p> <p>2) 電子ジャーナル商品紹介 平本 賢助 (ユサコ株式会社)</p> <p>3) ProQuest の紹介 長谷川智史 (株式会社サンメディア e-Port)</p> <p>4) PierOnline の紹介 馬淵 沙織 (株式会社サンメディア e-Port)</p> <p>5) 医中誌 Web の現況 春名 理史 (医学中央雑誌刊行)</p> <p>(4) 出版における過去・現在・未来 林 亨 (株式会社メディカ出版)</p> <p>(5) 国立情報学研究所 (NII) の事業について 平田 義郎 (国立情報学研究所 NII)</p> <p>(6) グループワーク「I.L.L 進化論」</p>	2008. 6. 28
118	<p>研究支援</p> <p>(1) 総合病院の図書室における歯科医学書について 宇佐美雄司 (刈谷豊田総合病院)</p> <p>(2) 図書館によるビジネス支援サービス —その医療分野への応用可能性を含めて— 小澤 弘太 (国立国会図書館)</p> <p>(3) 病院における看護教育について 石川眞理子 (刈谷豊田総合病院)</p> <p>(4) 病院施設・図書館見学</p>	2008. 12. 6
119	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) 『図書室だより』の web 配信を開始して 浜田美智代 (社会保険神戸中央病院)</p> <p>(2) 看護専門学校及び病院図書室の利用状況について 川野 眞樹 (京都第二赤十字病院)</p>	2009. 3. 13

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	<p>(3) 当院図書室の現状と課題 石川 尚子 (住友病院)</p> <p>(4) 病院図書室におけるサービス (情報提供) の専門性を探る 山室真知子 (京都南病院)</p>	
120	<p>EBM と文献検索</p> <p>(1) ネットにない情報・知識・知恵の提供 ―レファレンスの現場から― 諏訪 敏幸 (大阪大学附属図書館生命科学分館)</p> <p>(2) 新しいPubMedのご紹介 ―講義と演習― 松村 高雄 (株式会社サンメディア リサーチソリューションズ データベースサーチグループ)</p> <p>(3) プロダクトレビュー: ProQuestのエビデンスツールのご紹介 藤田 美穂 (株式会社サンメディア e-Port)</p> <p>(4) スモールグループディスカッション (参加者交流) ―相互協力活動の未来―</p>	2009. 12. 19
121	<p>事例・研究報告会</p> <p>(1) NACSIS-ILL 参加報告 ―よりよい相互貸借の実現をめざして― 藤原 純子 (洛和会音羽病院)</p> <p>(2) 看護研究入門者への支援 武田 昭子 (刈谷豊田総合病院)</p> <p>(3) ピクトグラムについて 寺澤 裕子 (関西労災病院)</p> <p>(4) 近畿病院図書室協議会アンケート報告: ネットワークの在り方 ―期待と課題― 事務局: 林 伴子 (社会保険神戸中央病院)</p>	2010. 3. 30
122	<p>文献検索と図書館便利ツール</p> <p>(1) JDreamII の使い方 基礎編 首藤 晶子 (科学技術振興機構 情報提供部西日本支所)</p> <p>(2) バーコードラベルをつくろう 井上智奈美 (三菱京都病院)</p> <p>(3) PubMed の使い方 基礎編 山下 ユミ (京都府立医科大学附属図書館)</p>	2010. 9. 25
123	<p>スキルアップを支援する! ―看護職編―</p> <p>(1) [医学の基礎知識] 受動喫煙と子供の健康について 塚本 浩子 (住友病院 小児科診療部長 兼 医学研究図書部長)</p> <p>(2) 専門看護師の機能と役割について 得居みのり (姫路聖マリア病院 老人看護専門看護師)</p>	2010. 12. 11

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	(3) チームにおける感染管理認定看護師の役割 高橋 尚子 (社会保険神戸中央病院 感染管理認定看護師) (4) 日本看護協会図書館の情報提供サービスについて —最新看護索引 web を中心に— 今泉 千代 (日本看護協会図書館) (5) 住友病院医学図書室見学	

近畿地区医学図書館協議会／日本薬学図書館協議会 近畿・中国・四国地区協議会／近畿病院図書室協議会 共催シンポジウム

年度	プログラム・講師・発表者	開催年月日
12	EBM における医学薬学図書館員の役割 (1) EBM 推進への図書館の役割について考える 鈴木 孝明 (奈良県立医科大学附属図書館 司書) (2) EBM : その背景と Librarian に求めるもの 前谷 俊三 (天理よろづ相談所医学研究所 副所長) (3) 情報を吟味するポイント 福岡 敏雄 (名古屋大学医学部救急医学 助手) (4) 天理大学附属天理図書館の見学	2000. 11. 16
13	(1) 演習：図書館員による EBM 検索オリエンテーション事例 滋賀医科大学附属図書館情報サービス係 (2) 講演：生活習慣病の予防と EBM の活用 木之下正彦 (滋賀医科大学第一内科)	2001. 11. 29
15	医療とコミュニケーション・電子ジャーナルの利用と管理 (1) 関西医大発 臨床コミュニケーション学のすすめ 菅谷 泰行 (関西医科大学教養部 ドイツ語助教授) (2) 医療面接とコミュニケーション教育 古賀 愛人 (関西医科大学教養部 心理学教授) (3) 電子ジャーナルの利用と管理：京都薬科大学の場合 隅田 芳男 (京都薬科大学図書館 課長) (4) 電子ジャーナルとリンク 蓼沼 宏昭 (ユサコ株式会社)	2003. 12. 3
16	近畿病院図書室協議会創立 30 周年フォーラム共催 シンポジウム：効果ある利用者教育をめざして 座長：小田中徹也 (国立病院機構京都医療センター) (1) 近畿大学中央図書館の利用者サービス・利用者教育の取り組み	2004. 10. 8

年度	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	<p>中尾 民子 (近畿大学中央図書館収書・整理課課長補佐)</p> <p>(2) 住友病院図書室における利用者教育 —研修医オリエンテーションを中心に— 松本 純子 (住友病院)</p> <p>(3) 京都大学医学図書館の情報リテラシー教育 北川 昌子 (京都大学医学図書館閲覧掛長)</p> <p>(4) 効果ある利用者教育を目指して—関西医科大学での取り組み— 山田 久夫 (関西医科大学附属図書館長)</p>	
17	<p>(1) 利用者教育におけるプレゼンテーションの実際 —教材の作り方と指導の技術— 仁上 幸治 (早稲田大学図書館)</p> <p>(2) 生命科学分館の見学</p>	2005. 11. 17
19	<p>電子ジャーナル導入の図書館業務への影響 —特に ILL の観点から—</p> <p>(1) 電子ジャーナルの管理と運用について 青木 均 (株式会社紀伊国屋書店) 小室 謙吾 (株式会社紀伊国屋書店)</p> <p>(2) 電子ジャーナル導入の図書館業務への影響 —特に ILL の観点から— 鳥谷 和世 (神戸大学附属図書館医学分館) 中村 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター) 山下 ユミ (京都府立医科大学附属図書館)</p> <p>(3) 施設見学 ・神戸学院大学ポートアイランドキャンパス図書館 ・神戸夙川学院大学図書館 ・兵庫医療大学図書館</p>	2007. 11. 9
22	<p>エビデンス作成とライブラリアンの役割 —「診療ガイドライン」と「コクランレビュー」を例として—</p> <p>(1) 日本医学図書館協会の診療ガイドライン作成支援事業に参加して 鈴木 孝明 (奈良県立医科大学附属図書館医学情報係長)</p> <p>(2) コクランレビューと図書館のかかわり 田中 優 (奈良県立医科大学医学部医学科中央手術部 助教)</p> <p>(3) 診療ガイドラインと図書館のかかわり 樋之津史郎 (京都大学大学院医学研究科薬剤疫学分野 准教授)</p>	2010. 10. 25

勉強会

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
6	(1) 病院図書室の役割と近畿病院図書室協議会の活動について 山室真知子 (京都南病院) (2) 相互貸借の基本的ルール 林 伴子 (社会保険神戸中央病院) (3) 雑誌所蔵調査について 徳田 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)	1997. 6. 4
7	図書館の補修 島原 安三 (株式会社伊藤伊 大阪営業所)	2000. 7. 27
8	病院図書室 “初めの第一歩” 研修部	2000. 8. 10
9	身近なパソコン利用 田中 文子 (済生会兵庫県病院)	2000. 8. 16
10	オンラインジャーナルの登録手続きのしかた 金平真由美 (インフォトレーダー株式会社 調査部) 大塚 一紀 (インフォトレーダー株式会社 営業部)	2001. 5. 9
11	図書室業務の初歩 研修部	2001. 6. 13
12	パソコンともっと仲良く：その1 Excelをつかいこなそう —シートとセルの操作 入力と編集 書式— 亀井真由美 (阪和記念病院)	2001. 8. 2
13	パソコンともっと仲良く：その2 Excelをつかいこなそう —計算 グラフ データの加工— 亀井真由美 (阪和記念病院)	2001. 8. 23
14	パソコンともっと仲良く：その3 Accessをつかいこなそう —初めて使うデータベースソフト— 石川忠充 (社会保険神戸中央病院)	2001. 9. 12
15	医中誌 Web 松田 真美 (医学中央雑誌刊行会)	2002. 6. 21
16	病院図書館業務の基礎 —データの収集から提供まで— 研修部	2002. 7. 27
17	やり直しの Excel —総合目録作成に向けて— 亀井真由美 (阪和記念病院)	2002. 8. 14

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
18	(1) 病院図書館員の初歩 研修部 (2) Power Point の使い方 三好 晶子 (パソコン広場)	2003. 8. 13
19	病院図書館業務の基礎 (1) 近畿病院図書室協議会の成り立ち (2) 病院における図書室の役割とは? —基本的業務について— (3) 病院図書館での文献取り寄せ業務 —その手順と基本的マナー— (4) 病院見学 研修部	2004. 6. 24
20	(1) 図書館相互貸借業務 (ILL) のルールとマナー (2) 役立つ担当者と思われるコツ (3) 図書館見学 研修部・事務局	2005. 6. 22
21	(1) 近畿病院図書室協議会について (2) 病院図書館の基本業務 (3) ILL 業務の基本 研修部・事務局	2006. 7. 22
22	図書の修理と製本 藤原 孝 (京都ノートルダム女子大学司書課程非常勤講師)	2006. 9. 30
23	製本工場見学会 ナカバヤシ兵庫工場	2007. 7. 18
24	新任者研修会 (1) 協議会について 事務局：林 伴子 (社会保険神戸中央病院) (2) Kinki Webcat の基本操作 目録サポートチーム：藤原 純子 (洛和会音羽病院) (3) 図書整理の流れ 研修部：田中 律子 (大阪滋慶学園大阪ハイテクノロジー専門学校) (4) ILL による「文献取り寄せ」について 研修部：中村 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター) (5) 参加者交流会	2007. 7. 28
25	本の補修講習会—製本の基礎と本の補修— 藤原 孝 (京都ノートルダム女子大学司書課程非常勤講師)	2007. 9. 29
26	ホームページ作成講習会—HTML によるホームページ作成— (全 3 回) 渡邊 弘子 (有限会社マイスター・ラボラトリー)	2007. 11. 21 2007. 12. 19

回	プログラム・講師・発表者	開催年月日
	三田麻衣子 (有限会社マイスター・ラボラトリー)	2008. 1. 16
27	<p>新任者研修会</p> <p>(1) 近畿病院図書室協議会について 事務局：林 伴子 (社会保険神戸中央病院)</p> <p>(2) 病院図書館の基本業務 —整理と保管— ・書籍 研修部：田中 律子 (大阪滋慶学園大阪ハイテクノロジー専門学校) ・雑誌 研修部：林 伴子 (社会保険神戸中央病院)</p> <p>(3) 文献入手について 研修部：中村 雅子 (大阪府立母子保健総合医療センター)</p> <p>(4) 藍野大学中央図書館の紹介と見学 増田 徹 (藍野大学)</p>	2008. 5. 11
28	<p>Access 応用講座 —蔵書管理における Access 応用講座— (全 3 回)</p> <p>渡邊 弘子 (パソコンスクール LaLa メイツ)</p> <p>三田麻衣子 (パソコンスクール LaLa メイツ)</p>	<p>2008. 7. 9</p> <p>2008. 8. 13</p> <p>2008. 9. 10</p>
29	<p>新任者研修会</p> <p>(1) 近畿病院図書室協議会について</p> <p>(2) 病院図書館の基本業務—整理と保管—</p> <p>(3) 文献入手について</p> <p>(4) 図書室見学 研修部</p>	2009. 7. 13
30	<p>(1) 近畿病院図書室協議会について 林 伴子 (社会保険神戸中央病院)</p> <p>(2) 病院図書室の基本業務—保管と整理— 林 伴子 (社会保険神戸中央病院)</p> <p>(3) 文献入手 (ILL) について 藤原 純子 (洛和会音羽病院)</p> <p>(4) KinkiWebcat の使い方 藤原 純子 (洛和会音羽病院)</p>	2010. 7. 24

施設見学会

見学場所	開催年月日
国立国会図書館関西館	2004. 2. 25

## 交流会

回	開催場所	開催年月日
1	in 京都 ホテル法華クラブ京都 会議室フィオーレ (地下1階)	2010.6.20
2	in 神戸 神戸国際会館セミナーハウス9階 7号会議室	2010.10.24